



2021.8.27 瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

### 夏休みの思い出

今年の夏休み前半は東京オリンピックで盛り上がりました。日本の選手が大活躍し、過去最大のメダル数を獲得しました。コロナ禍での開催については賛否両論があり、何が正しかったのかという答えを出すことは難しいと思います。4年に一度、今回は5年となってしまいましたが、それまで努力してきた選手の方々にとって、開催は待ち望んでいたことでしょう。目標に向かって頑張るアスリートの姿は、コロナで疲弊した私たちの心に、大きな感動と希望を与えてくれました。

そして夏休み後半からはパラリンピックが始まりました。こちらもコロナ感染者数が過去最高となり、緊急事態宣言が発令される中、感染予防対策に万全を期す、ということで始まりました。障害を乗り越えて頑張る姿に、オリンピック以上の感動をもらっていますが、印象に残った言葉があります。

「失ったものを数えるな、残されたものを最大限生かせ」これは“パラリンピックの父”と呼ばれる医師の言葉だそうです。コロナ禍でトレーニングを続けることも難しい中、開催を信じて頑張ってきた選手の方々。素直に選手の皆さんの活躍にエールを送り、最後まで応援してあげたいと思います。



### 夏休みの宿題

私は大学に4年間通い幼児教育の勉強をし、幼稚園教諭1級免許状を取得、幼稚園園長を務めています。但し、大学では保育士資格取得の科目がなかったため、保育士免許はありません。園では数年前から2歳児も受け入れているので、夏休みの空いている時間を利用して、保育士の資格を取ることにしました。

まず資格専門学校を調べました。教材を取り寄せて自宅学習を行い、試験問題用紙に回答を書き込み送ります。合格すると資格が得られるというのです。早速申し込み、8月から勉強を始めました。教材を読み込んでひたすら問題を解く作業で、こんなに机に向かって勉強するのは何十年ぶり。何よりも老眼鏡をかけてしか字が読めないし、まるで夏休みの宿題を頑張っている学生のような毎日でした。

ところが自宅学習だけでなく「スクーリング」といって土・日曜日の2日間だけ、どうしても専門学校で授業を受けなければならないのです。教材・ノートや筆記用具、名前をつけたエプロンも用意して、いざ専門学校へ。集まったメンバーは1クラス14名でお互いに初対面。多分私が一番年上？で、元幼稚園教諭・子育て中の主婦・介護職員等々、様々な女性が集まりました。乳幼児の成長過程の授業を受け、人形を使っの沐浴・ミルクの授乳・おむつ交換の練習、手作りおもちゃの作成、絵本の読み聞かせ等々、実習を行いました。最後に試験があり、必死で鉛筆を走らせ回答を提出して、無事にスクーリングが終了。メンバーとは授業が進むうちに仲良くなり、みんなで記念撮影をして別れました。

なんだか夏休みの宿題を終えた達成感でいっぱいです。が、まだ4科目の試験問題をクリアし、10月の締め切りまでに送らなければなりません。目標達成まであと少し、最後まで頑張ります。

### プラス言葉とマイナス言葉

ポジティブとネガティブ、前向きと後ろ向き、プラスとマイナス、これらは正反対の意味があります。「どうせ私なんか」「最初から無理」はマイナス言葉で、何をやってもうまくいかない方は、負の連鎖で、後ろ向きな心が行動まで伝わって影響するのではないのでしょうか。言ったことが本当になるなら、その逆を行ってみてはどうでしょう。前向きなプラスの言葉を言い続けた方が、身も心も軽くなり、良いことがたくさん起こるはず。家族やお子さんへの言葉がけも常にプラス言葉を心がけましょう。だって、マイナス言葉を言われ続ける方の身になったら、うれしくないですもんね。いつも笑顔で前向きに！

